

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	生活道路整備事業	所管	道路公園部 道路建設課
			TEL 2998-9172

事業の目的 (何の為に 行うか)	災害時の避難路の確保また交通・日照や通風などの生活環境の向上を図る。
------------------------	------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	道路後退用地の寄附予定件数	対象とした数	270	件
		実際に 利用した数	268	件

活動の内容	(何を したか)	市道に接する敷地で建築等を行う時、道路確定中心から2.1mの後退用地の寄附をお願いして、その後退用地の道路整備を行う事業。 事前協議→協議書受付→審査→寄附申請書受付→ 現地確認→登記→報償金・物件補償→後退整備工事							
活動実績	項目名	後退用地の確保	4155.61	項目名	後退用地の確保	268	項目名		単位
			単位 m ²			単位 件			単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	284,317	269,327	327,570	966.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	後退用地の事務の処理率	後退用地寄附件数/後退用地寄附予定件数	270	268	99.3
			単位 件	単位 件	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無	有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	070200	TEL	2998-9172
事業コード	070202	生活道路整備事業		道路公園部 道路建設課		
開始年度		平成 8 年度	—	終了年度	平成 年度	
グループ		生活道路担当				

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令道路法、所沢市生活道路拡幅整備要綱		
分野別計画・指針	所沢市総合計画					
関連・類似事業	道路改良事業、道路舗装事業					
総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	3節 道路	中柱	3 生活道路の整備
					小柱	*****
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 10 位						
実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
事業開始の背景						
昔ながらの狭い生活道路は、災害時の避難路の確保及び交通・日照など、住みやすい環境をつくるうえで大きな障害となっていました。そこで、平成8年4月1日より要綱を設け、このような状況を改善する事業。						

③事業の内容						
目的(何のために、具体的に)						
災害時の避難路の確保また交通・日照や通風などの生活環境の向上を図る。						
対象(誰を、何を対象としているのか)				利用数の考え方		
道路後退用地の寄附予定件数				道路後退用地の寄附件数		
対象数	単位	平成 18 年度	276	件	利用数	単位
		平成 19 年度	270	件		
		平成 18 年度	276	件		
		平成 19 年度	268	件		
事業の具体的な内容及び実施方法						
市道に接する敷地で建築等を行う時、道路確中心から2.1mの後退用地の寄附をお願いして、その後退用地の道路整備を行う事業。事前協議→協議書受付→審査→寄附申請書受付→現地確認→登記→報償金・物件補償→後退整備工事						

④前年評価と改善点						
平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())					
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)					
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点						
所沢市生活道路拡幅整備要綱に規定する物件補償金の算定方法(角敷地、すり付け用地)以外の補償金を100%→50%に見直しをした。なお、経過処置を執るため、平成20年7月1日から施行する。						

⑤経費						
《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)		
当初予算		285,220	284,317	267,037		
決算(見込み含む)		315,062	269,327			
(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)	(人) (人)			
正規職員人件費	6.40 人	58,880	6.20 人	58,243	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
公債費						
事業費合計		373,942	327,570			
財源内訳	一般財源	243,942	197,570	207,037		
	国・県支出金					
	受益者負担金					
	市債					
	その他	130,000	130,000	60,000		
市民一人当たり(単位:円)		1,106.7	966.1			
利用数一単位あたり(単位:円)		1,354,862.3	1,222,275.4			

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	後退用地の確保	後退用地寄附面積	m ²	4,636.97	4,155.61	4,350	
	後退用地の確保	後退用地寄附件数	件	276	268	250	
	後退用地の事務の処理率	後退用地寄附件数/後退用地寄附予定件数	件	目標値 276 実績 276	270 268		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
成果分析			%	達成率 100.0	99.3		

⑦一次評価			
評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題			
生活道路の整備は、主に建築時に協力していただき、防災、交通、日照の確保等市民生活の安全のため推進すべき事業で、市民からの申請件数も増えているため、費用対効果などを勘案し物件補償費の見直しを検討する。			
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	生活道路整備事業は市民からの申請事業であるため、月ごとの効率的な運用に努めたい。		
平成21年度における事業の方向性			
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())		
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由			
生活道路整備事業は、狭い道路の改善により、防災、交通、日照の確保等身近な生活環境の向上を図ることから、推進すべき事業であるが、物件補償等の支出方法(対象物件)の見直しを実施して、後退用地の整備費に充当していきたい。			
評価日	平成20年5月23日	記入者職氏名	道路建設課長 高橋益行

⑧二次評価						
一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 終了					
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
評価理由	評価日					
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価日					

⑨個別計画における方向性						
◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ…有り 計画コード 111 171						
施策の体系	1-1大気汚染の防止	1-1-1自動車排ガス対策の推進				
	1-7交通安全対策	1-7-1交通安全管理の推進				
◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ…有り 計画コード 3243						
基本目標	3子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります					
主要課題	2子育てに快適な環境づくり					
施策の方向	4交通安全対策の充実					